2023.12.7

10/14、12/3 “みんなの遊び場ボールパーク”開催についての報告書

木曽地区野球協会
高校代表　森　大樹

1　概要

今年度は 10 月に日義グラウンドと体育館、11 月には初の上松町社会体育館を会場に変えて 2 度開催。

両日とも延べ 100 名以上の 1 歳から 12 のお子様が参加したイベントとなりました。

野球をやってほしいということはもちろんありますが、一番は遊び場の少ない木曽地域の子どもたちに“場”の提供ができればと考えたことから始まったイベントであります。

木曽地域のイベントとして新聞２社(市民タイムス、中日新聞)が集うイベントはなかなか無いため、地域のイベントとしては人口比で考慮すると非常に大盛況であったと考えられます。

2　内容

①10 月

日義グラウンドと体育館両方を使い、参加したお子様にはシールラリー用シートを用意し、8 ブースでボール等を使ったアトラクションなどを用意し、お子様全員参加型のイベントとして、みんなでやる障害物競走や玉入れなどを用意しました。

また、野球の道具を知っていただくために、スポーツ店に依頼し移動販売を行っていただきました。

今回はシールを全て集めた方にははずれなしの抽選くじを用意し、楽しかったと言っていただけました。

令和５年(2023年)１０月２３日 月曜日 (12)

野球って楽しいね

木曽で子供向け体験会

高校生の手ほどきを受けながら、数字が書かれた的をめがけてボールを投げる子供

子供に野球の楽しさを感じてもらう体験会がこのほど、木曽町の日義グラウンドと日義体育館で開かれた。保護者と一緒に参加した未就学児や小学生は「投げる、打つ」といった野球の基本動作を取り入れたゲームに夢中だった。

バットを使っただるま落としから、木の棒を投げてピンを倒し点数を競うフィンランド発祥のスポーツ「モルック」まで、多彩な種目に挑戦した。木曽青峰高校野球部と中学生選抜チーム「オール木曽」、木曽町の学童野球チーム「福島クラブ」の選手が手ほどきした。

「みんなの遊び場ボールパーク」と銘打ち、木曽地区野球協会が企画した。堀口泰弘会長は「まずは屋外で元気よく遊んでくれる子供が増えればうれしい。その中から、野球を含めたスポーツに興味を持ってもらえればなおうれしい」と話していた。12月3日には上松町社会体育館で本年度2回目の開催を予定している。（向山　均）

地域の魅力 楽しんで実感

松本 中央地区ふれあい祭り

松本市中央地区のふれあい祭り（実行委員会主催）がこのほど、大手3の市大手公民館で開かれた。文化祭と住民交流の企画を

アンケートでは参加された親御様より下記のような嬉しいご意見をいただきました。

屋内外同時開催なのが嬉しかったです。０歳は体育館でハイハイ、２歳は運動場で走り回れるので２人とも有意義に過ごせました。お兄さんお姉さんと言い書に遊べる機会はなかなかないので、キャッチボールやかけっこを一緒にできたら楽しそうだと思いました。
設営準備お疲れ様でした。土日の練習にもお試しに連れて行きたいなと思います。よろしくお願いします。
道具や器具を使った遊びは普段家庭で取り組むのは難しいので、新鮮だったようです。楽しく参加でき、帰ってきてからもクジでもらったおもちゃを楽しんで遊んでいました。そしてさっそく家でもポンポンいろんなもの投げて楽しんでいました。
昨年度に引き続き、参加させてもらったことで子どもの成長が感じられました。単年でなく、継続して参加できるイベントを開催していただいたことで、子どものできることが増えているのを実感でき、とても感謝しています。

②１２月

今年度は初の上松町社会体育館をお借りして、10 月に行ったイベントより対象年齢を下げて、未就園児でも楽しめるイベントになるように企画したものが 12 月のイベントであります。シールラリー用シートを用意し、8 ブース全て回ると景品がもらえる方式で行いました。昨年は吸盤のついたボールと捕球用板、今年はシールを集めてくださったお子様に、プラスチックバットとボールをプレゼントしました。

下記は参加者からのアンケート結果となります。

とても楽しめました。来年度以降も是非行ってほしいです。運営、有難うございました。
お兄さんお姉さんがとても優しくて、うまくいくと一緒に喜んでくれたり盛り上げてくれて、楽しく過ごせました！ありがとうございました！！

３　今後について

木曽地域との密接な連携をとることで、野球というスポーツを知るだけでなく、毎年の“遊び場”として地域に浸透してきています。“うちの地域でもやってください”というご意見もいただいき木曽地域内でも根付いてきております。このような地域のイベントを通して、実際、今年度学童のチームに加入してもらえるようになってきました。木曽地域としての野球人口を増えてきております。その傾向は高校野球チームの存続にも大きく繋がっていく活動にもなると考えおります。できる限り継続的にやっていくことが木曽地域のためになるので、オフシーズン問わず、小さなイベントも含めて開催できればと考えております。

ご参加いただいたお子様並びに保護者の皆様に改めて厚く御礼申し上げます。

また、他地区からの来場者もいらっしゃいますので、よろしければご参加いただければ幸いです。